



サイドリフトアップチルトシート装着車 取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

NOAH VOXY



イラスト目次	イラストから検索
--------	----------

1	安全・安心のために	お客様に必ずお読みいただきたいこと
2	サイドリフトアップ チルトシート	サイドリフトアップチルトシートに関する説明
3	手動車いす用 固定装置	手動車いす用固定装置に関する説明
4	万一の場合には	故障したときや、緊急時などの対処
5	点検・整備項目	定期点検整備についての説明

さくいん	症状から検索
	音から検索
	五十音で検索

イラスト目次	4
本書の見方	6

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために

サイドリフトアップ チルトシートについて	8
車いすの固定について	13
バッテリー〈補機バッテリー〉 について	14

2 サイドリフトアップ チルトシート

2-1. サイドリフトアップ チルトシート

サイドリフトアップ チルトシートの調整	16
ヘッドレスト	18
アームレスト	20
フットレスト	21
シートベルト	23
正しい乗車姿勢	24
ワイヤレスリモコン	25

2-2. 操作のしかた

サイドリフトアップ チルトシートを 操作するときは	28
サイドリフトアップ チルトシートを 車外に出すときは	34
サイドリフトアップ チルトシートを 車内にもどすときは	38
シート昇降スイッチ での操作	43

2-3. 安全にお使いいただくために

チャイルドシートの 取り付け	45
-------------------------	----

3 手動車いす用固定装置

3-1. 手動車いす用固定装置

車いすの収納・固定前の
準備..... 48

車いす固定ベルト 50

3-2. 車いすの収納・固定

固定・解除のしかた 54

4 万一の場合には

4-1. 故障かな？と

お考えになる前に

ヒューズの交換 62

サイドリフトアップ
チルトシートが
動かないときは..... 64

ワイヤレスリモコンの
電池交換 65

4-2. 緊急時の対処法

サイドリフトアップチルト
シートが車外に出た状態で
動かないときは..... 68

5 点検・整備項目

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備 80

さくいん

こんなときは
(症状別さくいん) 82

車から音が鳴ったときは
(音さくいん) 84

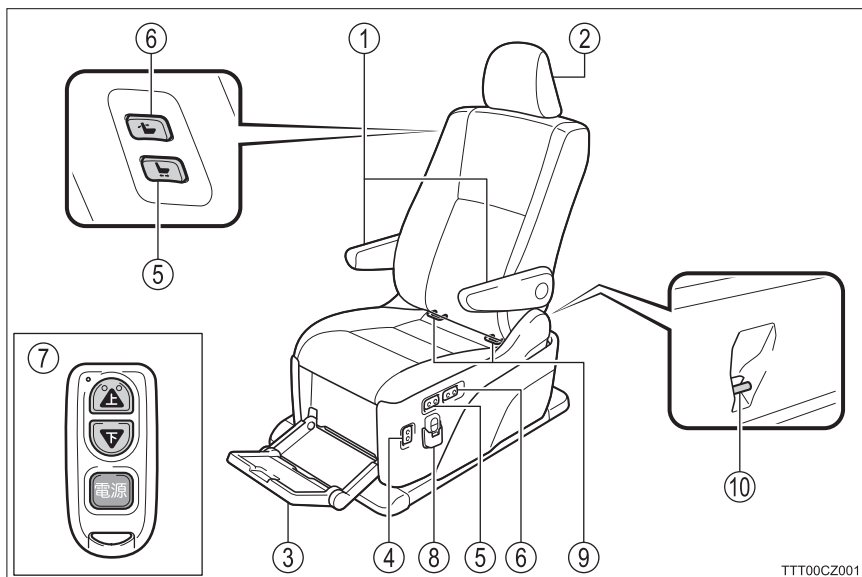
五十音順さくいん..... 86

本書はサイドリフトアップチルトシートの装備について記載しています。
車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読み
ください。

ただし、サイドリフトアップチルトシートの装備により、お車と標準車取扱書
の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

イラスト目次

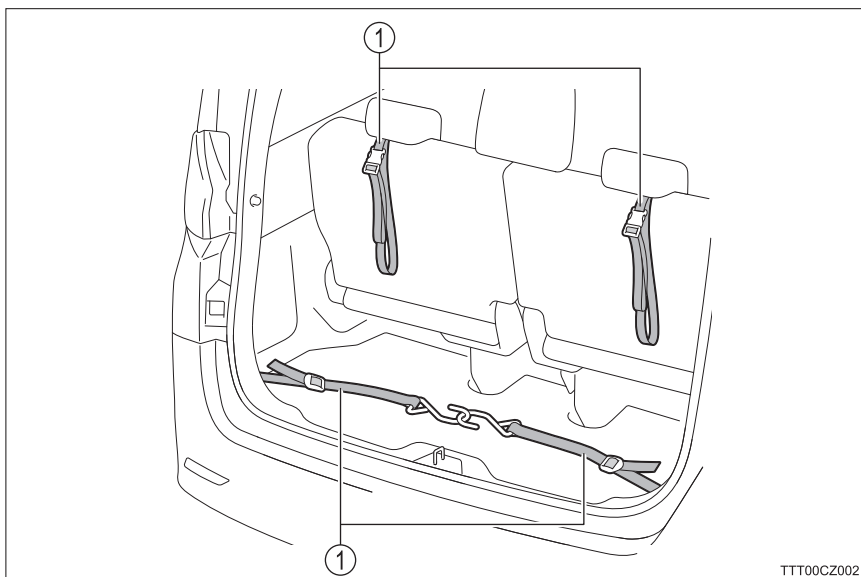
■ サイドリフトアップチルトシート



TTT00CZ001

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| ① アームレスト | P.20 |
| ② ヘッドレスト | P.18 |
| ③ フットレスト | P.21 |
| ④ シート昇降スイッチ | P.43 |
| リセット | P.68 |
| ⑤ シート前後スライドスイッチ | P.16 |
| ⑥ シートリクライニングスイッチ | P.16 |
| ⑦ ワイヤレスリモコン | P.25, 34, 36, 38 |
| サイドリフトアップチルトシートを車外に出すときは | P.34 |
| サイドリフトアップチルトシートを車内にもどすときは | P.38 |
| 電池交換 | P.65 |
| ⑧ ワイヤレスリモコンホルダー | P.25 |
| ⑨ ISOFIX ロアアンカレッジ | P.11, 45 |
| ⑩ トップテザーアンカレッジ | P.11, 45 |

■ 手動車いす用固定装置



TTT00CZ002

- | | |
|------------------|------|
| ① 車いす固定ベルト | P.50 |
| 固定・解除のしかた | P.54 |

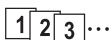
本書の見方



お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



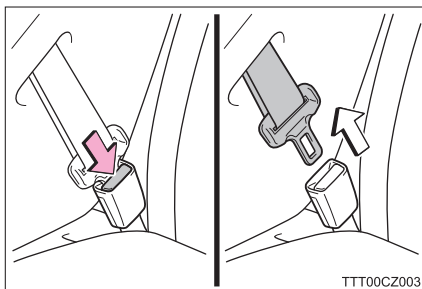
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

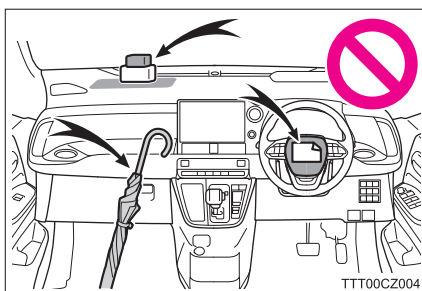
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の動作を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

■ハイブリッド車特有の記載について

ハイブリッド車特有の部品名称やスイッチ名称を“〈○○○〉”で表示しています。(〈補機バッテリー〉など)

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために

サイドリフトアップ チルトシートについて	8
車いすの固定について	13
バッテリー 〈補機バッテリー〉 について	14

サイドリフトアップチルトシートについて

- 本書におけるサイドリフトアップチルトシートの操作はすべて介助の方が行ってください。
- この項目では、サイドリフトアップチルトシートについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

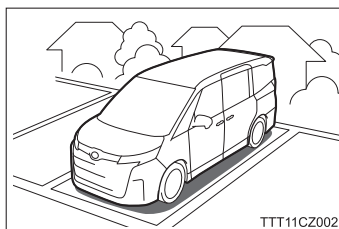
⚠ 警告

■操作および車いすを収納するときは

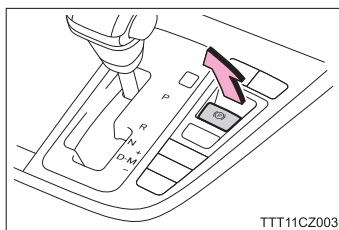
不整地や傾斜地で操作しないでください。

車いす・サイドリフトアップチルトシートからの転落や、車いす収納時に車いすが傾いて体や車両にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 平坦な場所で操作

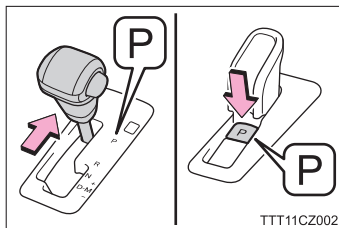


- パーキングブレーキを確実にかける



- シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする

パーキングブレーキがオートモードのときは、シフトレバーをPの位置にしたときに、自動でパーキングブレーキがかかります。(→標準車取扱書の「運転のしかた」)



警告

■ 操作するとき

- サイドリフトアップチルトシートを車外に出すときは、歩行者や自転車の有無など、周囲の安全を確認してから操作してください。
周囲の安全を確認せずに操作すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 正しい姿勢で乗車してください。(→ P.24)
- 必ず助手席側スライドドアを全開にしてください。

- 乗員の体について十分な安全確認をしてください。

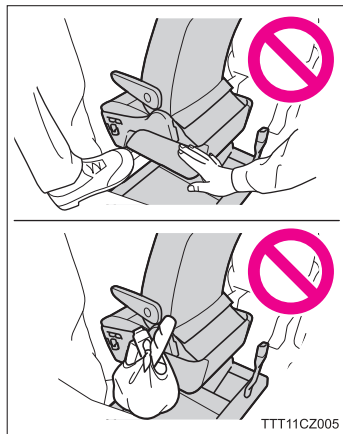
サイドリフトアップチルトシートを回転・チルトさせるときに、頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ① ドア開口部と頭部の接触に注意する
- ② ドア開口部とアームレストのすき間に挟まれないように注意する
- ③ ドア開口部と足の接触に注意する



- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

- サイドリフトアップチルトシート作動時、シートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれけがをしたり、荷物を損傷するおそれがあります。



警告

■ サイドリフトアップチルトシートを車内に格納したときは

サイドリフトアップチルトシートが確実に格納されているか確認してください。

確実に格納されていないと、走行中にサイドリフトアップチルトシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

正常格納時：格納完了時、“ピピッ”とブザーが鳴ります。

異常格納時：格納不良のまま助手席側スライドドアを全開位置から動かすと“ピーピー”という断続音が鳴ります。

異常格納時は、助手席側スライドドアを全開にし、ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート上昇スイッチ(またはシート昇降スイッチの上側)を押し続け、格納を完了させてください。(→ P.38)

格納不良のままだとバッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因にもなります。



TTT11CZ006

■ サイドリフトアップチルトシート乗員のシートベルトの着用

走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。(→標準車取扱書の「シートベルト」)

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトを着用した状態ではスイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートは回転・チルトダウン作動しません。
- 腰部ベルトは必ずアームレストの下を通してください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。
- 腰部ベルトがねじれがないようにしてください。



TTT11CZ007

警告**■チャイルドシートについて**

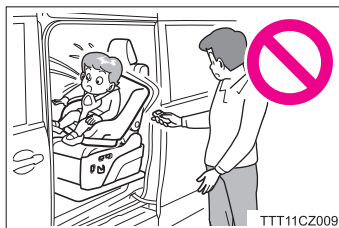
- シートベルトでサイドリフトアップチルトシートに固定しているときは、チャイルドシートを装着したまま操作しないでください。

無理にスライドまたはリクライニング操作をすると、サイドリフトアップチルトシートやシートベルトが破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



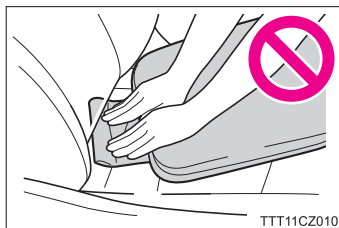
- ISOFIX ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジでサイドリフトアップチルトシートに固定しているときは、チャイルドシートを装着したまま操作しないでください。

無理にスライド、リクライニングまたは回転およびチルト操作をすると、サイドリフトアップチルトシートやチャイルドシートが破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
(ISOFIX ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ→標準車取扱書の「チャイルドシート」)



 注意**■ 損傷を防ぐために**

市販のクッションなどをサイドリフトアップチルトシートに取り付けるときは、シートクッションと背もたれのあいだに市販のクッションの取り付け部を挿し込まないでください。



- サイドリフトアップチルトシートのチルト作動時、シートの可動部などに市販のクッションの取り付け部があたり、市販のクッションの取り付け部およびシートを損傷するおそれがあります。
- サイドリフトアップチルトシートが作動しなくなったときは、P.68以降の要領でシートを車内にもどし、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

車いすの固定について

車いすの固定について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

⚠ 警告

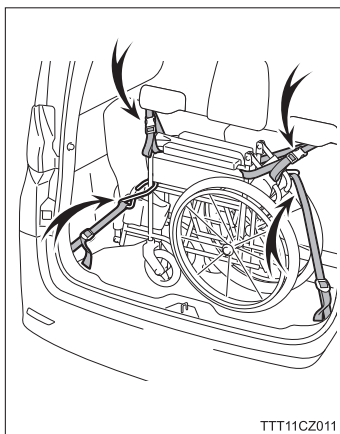
■ 車いすの固定確認

確実に固定されているか確認してください。

急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

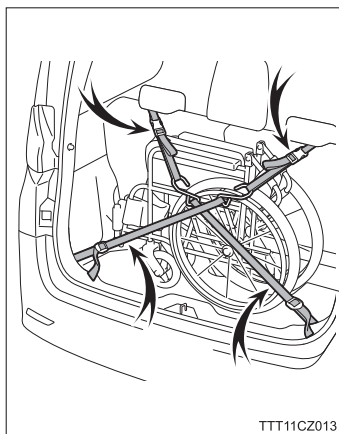
また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。

▶ 固定方法 A



TTT11CZ011

▶ 固定方法 B



TTT11CZ013

■ 車いす固定ベルトについて

車いす固定ベルトは、ラゲージルーム側にし、車いすの固定以外に使用しないでください。

車いす固定ベルトが乗車の方の体に巻きつき、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ラゲージ側に車いす固定ベルトがある場合でも同様に危険性があるため、十分注意してください。



TTT11CZ012

バッテリー〈補機バッテリー〉について

バッテリー〈補機バッテリー〉について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

知識

■ バッテリー〈補機バッテリー〉の取り扱いについて

サイドリフトアップチルトシート操作中にバッテリー〈補機バッテリー〉をはずさないでください。シートが作動しなくなります。

サイドリフトアップチルトシート操作中にバッテリー〈補機バッテリー〉の交換またははずしたときは、バッテリー〈補機バッテリー〉の接続状態を確認し、リセット操作をしてください。(→ P.68)

サイドリフトアップ チルトシート

2

2-1. サイドリフトアップ チルトシート

サイドリフトアップ チルトシートの調整	16
ヘッドレスト	18
アームレスト	20
フットレスト	21
シートベルト	23
正しい乗車姿勢	24
ワイヤレスリモコン	25

2-2. 操作のしかた

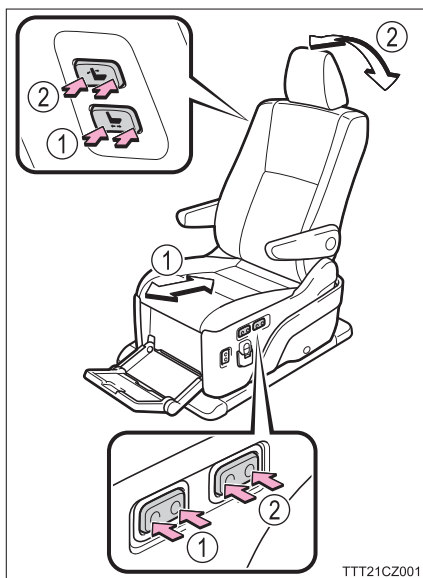
サイドリフトアップ チルトシートを 操作をするときは	28
サイドリフトアップ チルトシートを 車外に出すときは	34
サイドリフトアップ チルトシートを 車内にもどすときは	38
シート昇降スイッチ での操作	43

2-3. 安全にお使いいただくために

チャイルドシートの 取り付け	45
-------------------------	----

サイドリフトアップチルトシートの調整

- ① 前後位置調整
(シート前後スライドスイッチ)
- ② リクライニング調整
(シートリクライニングスイッチ)



知識

■ 作動条件について

サイドリフトアップチルトシートが車内に正常格納されていない状態では、前後位置調整・リクライニング調整はできません。

■ サイドリフトアップチルトシートの前後スライド量について

前後に 195mm 移動することができます。

■ シートアレンジについて

サイドリフトアップチルトシートは、フラットシートにすることはできません。

警告

■前後位置およびリクライニング調整について

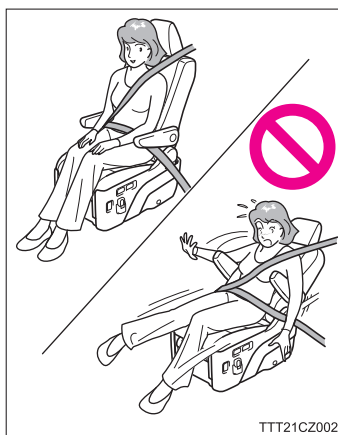
サイドリフトアップチルトシートの後方スライドおよび背もたれをうしろ側に倒すときは、助手席側サードシート乗車の方にあたらないことを確認しながら行ってください。

- サイドリフトアップチルトシートを後方スライドさせすぎると、助手席側サードシート乗車の方の足がサイドリフトアップチルトシートに挟まれ、けがをするおそれがあります。
- 背もたれをうしろ側に倒しすぎると、助手席側サードシート乗車の方にサイドリフトアップチルトシートの背もたれがあたり、けがをするおそれがあります。

■リクライニング調整について

走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。

事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



TTT21CZ002

注意

■故障・破損を防ぐために

前後位置調整・リクライニング調整の作動が完了したらスイッチから指を離してください。

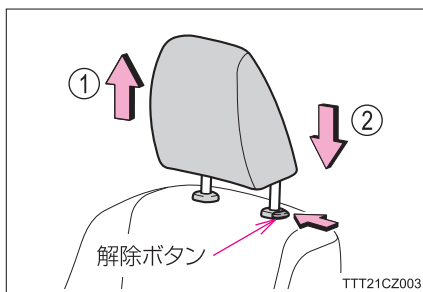
スイッチを押し続けると故障の原因になります。

ヘッドレスト

① 上げる

② 下げる

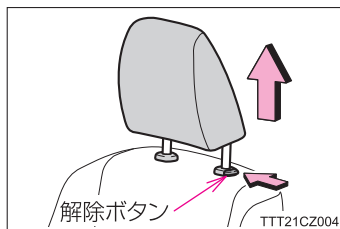
解除ボタンを押しながら操作します。



知識

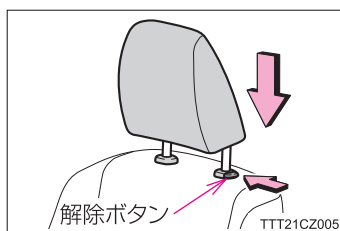
■ヘッドレストを取りはずすときは

解除ボタンを押したまま引き抜きます。



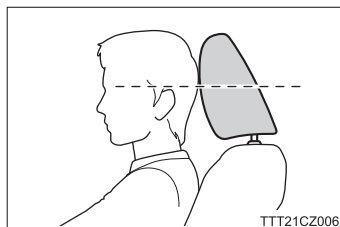
■ヘッドレストを取り付けるときは

ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。
さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作してください。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



 警告**■ ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

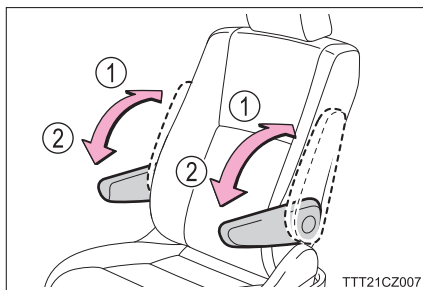
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

アームレスト

サイドリフトアップチルトシートの回転・チルト操作は、アームレストをいっぱいまで下げた状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる



知識

■ シートベルトの着用について

アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用が容易になります。

警告

■ シートベルトを着用するときは

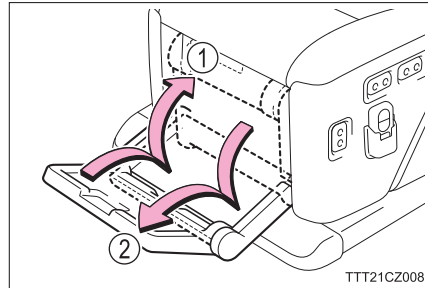
シートベルトは腰部ベルトをアームレストの下に通して正しく着用してください。アームレストにかかった状態で着用すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



フットレスト

サイドリフトアップチルトシートの回転・チルト操作は、フットレストをいっぱいまで下げた状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる



知識

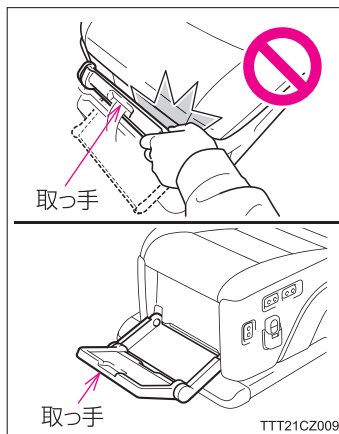
■ フットレストについて

- 折りたたみ式の2段階折れ構造になっています。
- 体勢保持のため、アームレストとフットレストをご使用ください。

警告**■フットレストを操作するときは**

必ずフットレストの取っ手を持って操作してください。

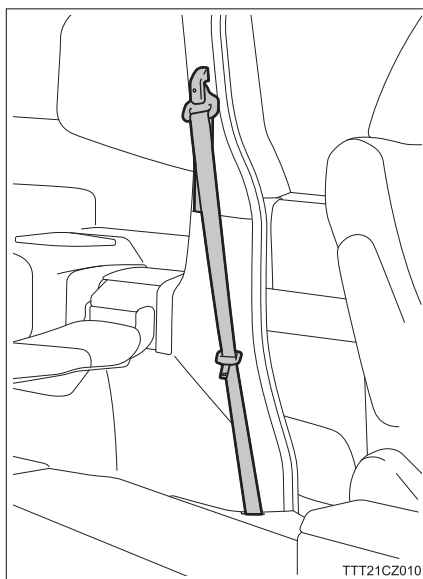
回転部近くを持つと指などを挟み、けがをするおそれがあります。



シートベルト

サイドリフトアップチルトシート左側に装備されます。

着用方法は標準車と同様ですので、標準車取扱書の「シートベルト」をお読みください。



正しい乗車姿勢

次のように正しい姿勢であることを確認してください。

- ① 両ひざをそろえてサイドリフトアップチルトシートの内側に収まるように座る
- ② アームレストを下げ、両腕をアームレストの内側におく
- ③ フットレストを下げ、両足をそろえてフットレストにのせる
 - ・ フットレストに足をのせるときは、できるだけかかとを引いた状態にします。
 - ・ かかとを引けない場合は、足がサイドリフトアップチルトシートとボデーのあいだで挟まれないように介助の方が支えてください。



⚠ 警告

乗車のときは

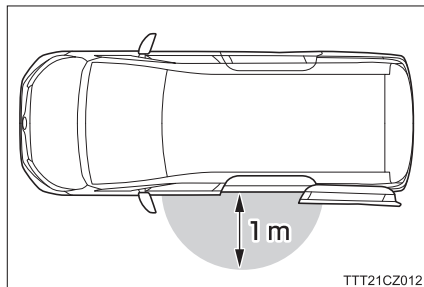
- サイドリフトアップチルトシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合、足や頭がボデーにあたり、座った状態でのサイドリフトアップチルトシートの回転が困難になりますので、ご注意ください。
- 頭上や手足に注意してください。
頭や手足をドア開口部にあてるなど、けがや思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→ P.9)
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

ワイヤレスリモコン

ワイヤレスリモコンでサイドリフトアップチルトシートの回転・チルト操作ができます。

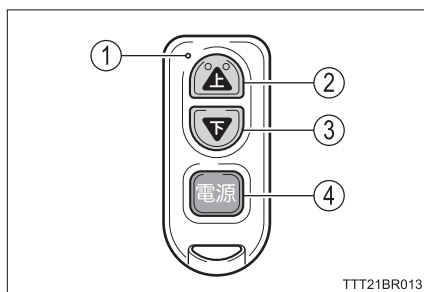
■ 作動可能範囲

サイドリフトアップチルトシートから約 1m



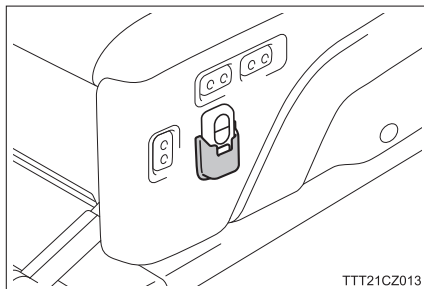
■ 各部の名称

- ① 動作表示 LED
- ② シート上昇スイッチ
- ③ シート下降スイッチ
- ④ 電源スイッチ



ワイヤレスリモコンホルダー

ワイヤレスリモコンが収納できます。



 知識

■ 作動条件について

- ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能範囲がかわることがあります。
- 周囲の電波状況により、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが一時的に停止する場合や、作動しなくなることがあります。そのときは次のことを行ってください。
 - ・ 立つ位置をかえて操作する
その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま立つ位置をかえてもサイドリフトアップチルトシートは作動しません。
 - ・ シート昇降スイッチで操作する (→ P.43)
- 助手席側ガラスに次のものを貼りつけると、受信機への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動可能距離が短くなるおそれがあります。
 - ・ 金属を含有するウインドウフィルム
 - ・ その他の金属物 (トヨタ純正品以外のアンテナなど)

■ ワイヤレスリモコンについて

- ワイヤレスリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
 - ・ 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
 - ・ 必ず日本国内でご使用ください。
- ワイヤレスリモコンの送信機または受信機のどちらかのみを交換したときは、ID コードを登録する必要があります。登録はトヨタ販売店にお申し付けください。

■ 電池について

- 電池寿命は約 1 年間です (1 回の操作時間を 30 秒、1 日の操作回数を 20 回で計算した場合)。ただし、電池寿命は実際の使用状況によってかわります。
- ワイヤレスリモコンを操作してもサイドリフトアップチルトシートが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示 LED が点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。(→ P.65)

■ 航空機に乗るときは

航空機にワイヤレスリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

 警告**■電波がおよぼす影響について**

医療用電気機器（以下を除く）を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ
- 植込み型除細動器

■ワイヤレスリモコンを使用するときは

安全に使用していただくため、次のことを必ずお守りください。

- 車両の外側から乗員の体が見える位置で、サイドリフトアップチルトシート乗車の方の頭・腕・足などがボデーと挟まれていないことを確認できる距離で操作する
- サイドリフトアップチルトシートまたはシート乗車の方に手を添えるなどして操作する

 注意**■故障を防ぐために**

- ワイヤレスリモコンは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ ダッシュボードの上など、直射日光のあたる場所および高温になるところに置かない
 - ・ 分解、改造しない
 - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
 - ・ 飲み物などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない（防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください）
- ワイヤレスリモコンの清掃にシンナー・ガソリン・ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。
表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。

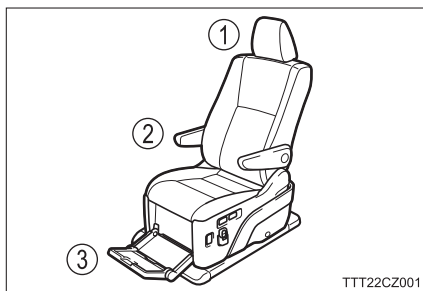
サイドリフトアップチルトシートを操作するときは

サイドリフトアップチルトシートは、助手席側セカンドシートを回転・チルトさせ、車外へ出すことができます。

- 操作はすべて介助の方が行ってください。
- 格納後はサイドリフトアップチルトシートを前後左右にゆすり、シートが確実に格納されたことを確認してください。

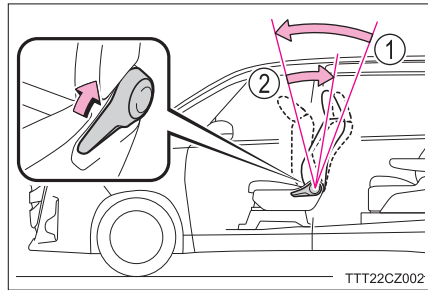
サイドリフトアップチルトシートを操作する前に

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま〈ハイブリッドシステムを作動状態のまま〉停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする（→P.8）
- 2 サイドリフトアップチルトシートの周囲および作動範囲内に、人や荷物がないことを確認する
- 3 サイドリフトアップチルトシートのシートベルトをはずす
はずしたシートベルトがアームレストにかかっていないことを確認してください。
- 4 サイドリフトアップチルトシートを回転・チルトするときは、シートを次の状態に調整する
 - ① ヘッドレストをいちばん下げた位置にする
 - ② アームレストをいちばん下げた位置にする
 - ③ フットレストをいちばん下げた位置にする



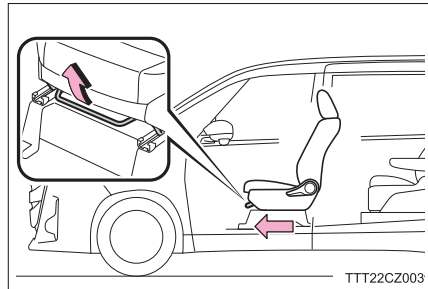
5 助手席シートの背もたれを次のように調整する

- ① リクライニングレバーを引きながら背もたれを車両前側にいっぱいまで倒す
- ② リクライニングレバーを引かずにそのまま“カチッ”と音がするまで背もたれを起こす
調整後、背もたれを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認します。



6 助手席シートのスライドレバーを引きながら、いちばんうしろのロック位置から2段以上前方に移動させる

調整後、助手席シートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認します。



 知識

■ ブザーについて

動作や状況に応じて次のようにブザーが鳴ります。

ブザー		動作・状況
ピーッ		ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押してサイドリフトアップチルトシートが作動するとき
ピピッ		シート上昇スイッチを押してサイドリフトアップチルトシートが車内に格納完了したとき
警告時	ピー…※ 1	サイドリフトアップチルトシートでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押したとき
		助手席側スライドドアを全開にしないでシート下降スイッチを押したとき
	ピピッ※ 2	サイドリフトアップチルトシートが完全に格納されていない状態で、パワースライドドアスイッチを押して助手席側スライドドアを自動で閉めようとしたとき
	ピーピー…	サイドリフトアップチルトシートが完全に格納されていない状態で、助手席側スライドドアを手動で全開位置から動かしたとき
ピピピッ		サイドリフトアップチルトシートが作動中、障害物にあたるなどシートの作動がさまたげられたとき

※ 1：スイッチを押しているあいだ、鳴り続けます。

※ 2：ブザーが助手席側スライドドアの下部付近から鳴ります。

警告

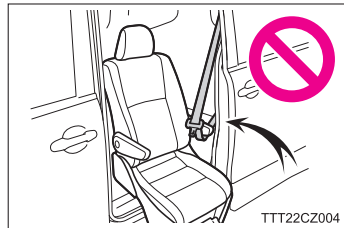
■ 助手席側スライドドアの開閉について

サイドリフトアップチルトシートの操作をするときは、助手席側スライドドアの開閉はパワースライドドアの自動開閉で行い、手動で開閉しないでください。シート操作中に手動で助手席側スライドドアを閉めると、シートや助手席側スライドドアを損傷したり、シートと助手席側スライドドアのあいだで手足などを挟まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ サイドリフトアップチルトシートを操作する前に

- サイドリフトアップチルトシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合、足や頭がボデーにあたり、座った状態でのシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 必ず平坦な場所にエンジンをかけたまま〈ハイブリッドシステムを作動状態のまま〉停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にしてください。(→ P.8)
車いすやサイドリフトアップチルトシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 必ずP.29の[5]、[6]の状態に助手席シートを調整してください。
助手席シートの背もたれがうしろ側に倒れた状態、または後方にスライドした状態のままサイドリフトアップチルトシートを操作すると、助手席シートがサイドリフトアップチルトシート乗車の方にあたってけがをしたり、助手席シートとサイドリフトアップチルトシートがあたり、シートの破損や故障の原因になります。
- サイドリフトアップチルトシートのシートベルトが確実にはずしてあること、およびシートベルトがアームレストに引っかかっていないことを確認してください。

シートベルトがアームレストに引っかかったままサイドリフトアップチルトシートを操作すると、シートベルトが体にかかってけがをしたり、サイドリフトアップチルトシートが故障するおそれがあります。



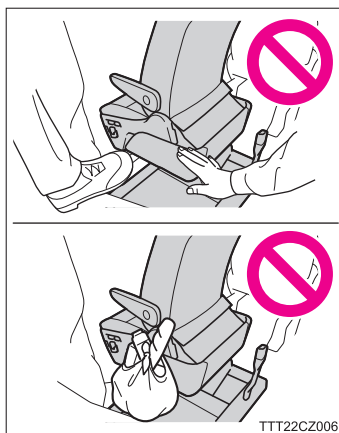
警告**■ サイドリフトアップチルトシートを操作するとき**

- サイドリフトアップチルトシートを車外に出すときは、歩行者や自転車の有無など、周囲の安全を確認してから操作してください。
周囲の安全を確認せずに操作すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- サイドリフトアップチルトシート乗車の方の頭上や手足に注意してください。
頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。(→ P.9)



- サイドリフトアップチルトシート作動時、シートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれけがをしたり、荷物を損傷するおそれがあります。



- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 必ずアームレストをいちばん下に下げ、使用してください。
アームレストを使用しないと乗車姿勢が不安定になったり、転落のおそれがあります。

 注意**■ 破損・故障を防ぐために**

- サイドリフトアップチルトシートを操作する前に、可動部周辺に障害物がないことを確認してください。
障害物とサイドリフトアップチルトシートがあたり、破損するおそれがあります。
- サイドリフトアップチルトシートのリフト能力 100kg をこえないようにしてください。
サイドリフトアップチルトシートが故障するおそれがあります。

■ バッテリー〈補機バッテリー〉あがりを防ぐために

サイドリフトアップチルトシートを操作するときは、エンジンをかけて〈ハイブリッドシステムを作動状態にして〉おいてください。
エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止した状態で操作すると、バッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因になります。
また、バッテリー〈補機バッテリー〉の容量が不足しているときにエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止した状態でサイドリフトアップチルトシートを操作すると、シートが作動中に停止することがあります。

サイドリフトアップチルトシートを車外に出すときは

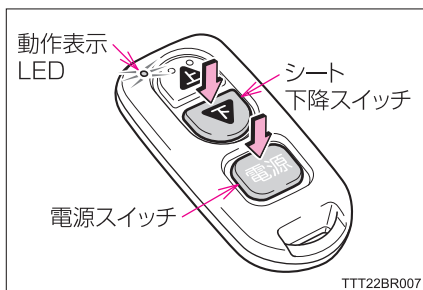
1 助手席側スライドドアを全開にする

2 操作前に、次の状態を確認する

- ・ サイドリフトアップチルトシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること (→ P.24)
- ・ サイドリフトアップチルトシートでシートベルトを着用していないこと
- ・ サイドリフトアップチルトシートの状態 (→ P.28)
- ・ 助手席側サードシート同乗者の安全
- ・ 助手席シートの状態 (→ P.29)

3 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート下降スイッチを押し続け、サイドリフトアップチルトシートを回転・チルトダウンさせる

シート昇降スイッチで操作することもできます。(→ P.43)



① “ピーッ” とブザーが鳴り、回転開始位置までサイドリフトアップチルトシートが動きます。

動作表示 LED が緑色に点滅します。



② サイドリフトアップチルトシートが回転しながら車両前方に移動します。

座面のチルトダウンが始まります。

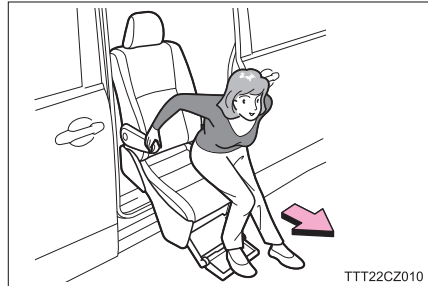


- ③ 座面がゆるやかにチルトダウンしながらサイドリフトアップチルトシートが車外へ出ます。

- ・ 背もたれも後方へ少しずつ倒れます。
- ・ サイドリフトアップチルトシートが下がりきり、動かなくなったらスイッチから指を離します。



- ④ アームレストに手をかけながらフットレストから降りる



 知識

■ 作動条件について

次の場合はシート下降スイッチを押すと、“ピー…”とブザーが鳴り、サイドリフトアップチルトシートは回転およびチルトダウンしません。(→ P.30)

- サイドリフトアップチルトシートでシートベルトを着用している
- 助手席側スライドドアが全開になっていない

■ ガソリンスタンドでは

給油口が開いていると助手席側スライドドアが全開できないため、給油時はサイドリフトアップチルトシートを車外に出せません。ガソリンスタンドでサイドリフトアップチルトシートを使用するときは、先にシートを操作して助手席側スライドドアを閉めてから、給油口を開けてください。

■ ワイヤレスリモコンについて

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます（動作表示 LED 消灯）。シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離れた時点より 6 秒延長します。
- シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押し、“ピーッ”とブザーが鳴ってから作動します(→ P.30)。断続的にスイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートは作動しません。
- サイドリフトアップチルトシート作動中にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチから指を離すと、シートはその位置で停止します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、サイドリフトアップチルトシートは作動しません。

■ 作動について

サイドリフトアップチルトシートが作動中、障害物にあたるなどシートの作動がさまたげられると、“ピピピッ”とブザーが鳴り、シートは少し反転して停止します(→ P.30)。この場合、乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押すと正常な作動にもどります。

 警告**■ サイドリフトアップチルトシートを車外に出す前に**

必ず助手席側サードシートの同乗者の安全を確認してください。

■ サイドリフトアップチルトシートから降りるときは

フットレストの上に立ち上がる場合は、アームレストに手をかけてください。
フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

 注意**■ 故障や損傷を防ぐために**

- 断続的にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- スwitchの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、サイドリフトアップチルトシートが故障するおそれがあります。
- サイドリフトアップチルトシートを車外に出したまま放置しないでください。
特に炎天下・雨天・寒冷時などにおいて、カバー類の変形やモーターなどの凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

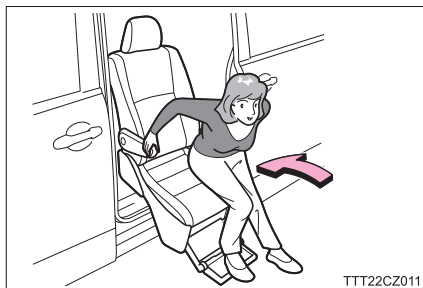
サイドリフトアップチルトシートを車内にもどすときは

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席側スライドドアが全開になっていること
- ・ サイドリフトアップチルトシートの状態 (→ P.28)
- ・ 助手席側サードシート同乗者の安全
- ・ 助手席シートの状態 (→ P.29)

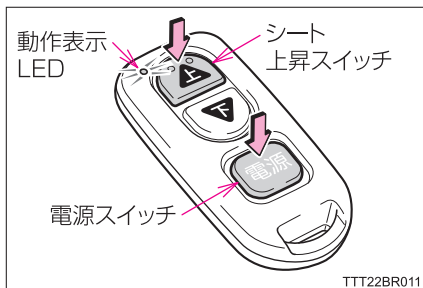
2 アームレストに手をかけ、フットレストに足をのせて座る

サイドリフトアップチルトシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であることを確認します (→ P.24)



3 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート上昇スイッチを押し続け、サイドリフトアップチルトシートをチルトアップ・回転させる

シート昇降スイッチで操作することもできます。 (→ P.43)



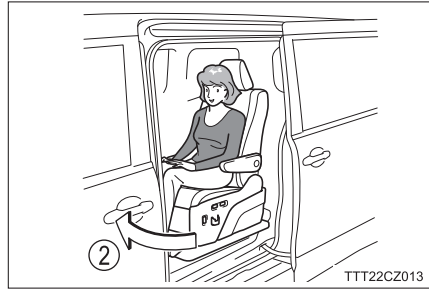
① “ピーッ” とブザーが鳴り、サイドリフトアップチルトシートがチルトアップ・車内へスライドします。

動作表示 LED が緑色に点滅します。



- ② サイドリフトアップチルトシートが車両後方に移動しながら回転します。

いっぱいまで回転し、自動的に停止（完全に格納）し、“ピピッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。



- 4 必要に応じてサイドリフトアップチルトシートの調整（→ P.16 ～ 22）をし、走行前に必ずシートベルトを着用する（→ P.10, 23）
正しくシートベルトを着用していることを介助の方が確認してください。
- 5 助手席側スライドドアを閉める
ただちに走行しないときは、エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してください。

知識

■ ワイヤレスリモコンについて

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます（動作表示 LED 消灯）。シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離した時点より 6 秒延長します。
- シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押し、“ピーッ”とブザーが鳴ってから作動します（→ P.30）。断続的にスイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートは作動しません。
- サイドリフトアップチルトシート作動中にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチから指を離すと、シートはその位置で停止します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、サイドリフトアップチルトシートは作動しません。

 知識

■ 自動メモリー機能について

サイドリフトアップチルトシートを車内にもどすときは、サイドリフトアップチルトシートを車外に出す前の前後位置・背もたれ角度（P.34 の **3** の **①** の操作前の状態）がメモリー位置として記憶されています。

- メモリー位置までサイドリフトアップチルトシートが回転・停止すると、“ピピッ”とブザーが鳴り、メモリー位置までシートがもどった（完全格納した）ことをお知らせします。
- サイドリフトアップチルトシートが車内に格納されたあと、メモリー位置まで完全にもどる途中でシート上昇スイッチから指を離すと、サイドリフトアップチルトシートの作動が停止し、再度シート上昇スイッチを押してもメモリー位置までもどりません。その場合は、シート前後スライドスイッチ・シートリクライニングスイッチを操作して、シートの位置を調整してください。
- サイドリフトアップチルトシート停止後、シート前後スライドスイッチまたはシートリクライニングスイッチを操作し、前後位置・背もたれ角度を調整すると、調整後の位置をメモリー位置として記憶します。

■ 作動について

サイドリフトアップチルトシートが作動中、障害物にあたるなどシートの作動がさまたげられると、“ピピピッ”とブザーが鳴り、シートは少し反転して停止します（→ P.30）。この場合、乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押すと正常な作動にもどります。

■ 助手席側スライドドアについて

サイドリフトアップチルトシートの格納が不完全な状態で助手席側スライドドアを全開位置から動かすと、ブザー（“ピーピー”という断続音）が鳴り、シートが正常に格納されていないことをお知らせします。（→ P.30）

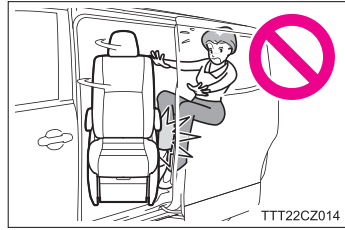
- 自動で助手席側スライドドアを閉めようとしても、助手席側スライドドアの下部付近から“ピピッ”とブザーが鳴り、助手席側スライドドアは作動しません。（→ P.30）
- 助手席側スライドドアを全開にし、ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート上昇スイッチを押し続け、サイドリフトアップチルトシートが自動的に停止し、“ピピッ”とブザーが鳴ったことを確認し、助手席側スライドドアを閉めてください。格納不良のままだとバッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因にもなります。

⚠ 警告

■ サイドリフトアップチルトシートを車内にもどす前に

必ず助手席側サードシートの同乗者の安全を確認してください。

サイドリフトアップチルトシートを車内にもどすとき、シートと車両のあいだに足を挟まれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



■ サイドリフトアップチルトシートに乗車するときは

フットレストの上に立ち上がる場合は、アームレストに手をかけてください。フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

■ サイドリフトアップチルトシートを車内に格納したときは

- “ピピッ” とブザーが鳴ったことを確認し、さらにサイドリフトアップチルトシートを前後左右にゆすり、確実に格納されていることを確認してください。(→ P.30)

確実に格納されていないと、走行中にシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 助手席シートを後方にスライドおよび背もたれを後方に倒すときは、サイドリフトアップチルトシート乗車の方にあたらないことを確認しながら行ってください。

サイドリフトアップチルトシート乗車の方に助手席シートがあたり、けがをするおそれがあります。

 注意**■故障を防ぐために**

- 断続的にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- スイッチの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、サイドリフトアップチルトシートが故障するおそれがあります。

シート昇降スイッチでの操作

ワイヤレスリモコンが電池切れ、故障および紛失などにより使用できないときは、シート昇降スイッチを使用してサイドリフトアップチルトシートの回転・チルト操作を行います。

(サイドリフトアップチルトシートの作動は、ワイヤレスリモコンで操作した場合と同じです)

シート昇降スイッチによる操作のしかた

1 助手席側スライドドアを全開にする

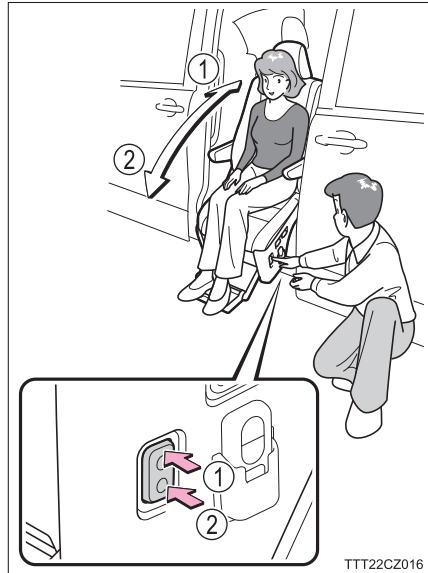
2 シート昇降スイッチの上側または下側を押し続ける

“ピーッ”とブザーが鳴りサイドリフトアップチルトシートが作動します。

① チルトアップ・回転する

② 回転・チルトダウンする

- ・スイッチを押しているあいだ、サイドリフトアップチルトシートが作動します。
- ・スイッチから指を離すと、サイドリフトアップチルトシートはその位置で停止します。



TTT22CZ016

3 サイドリフトアップチルトシートが自動的に停止したらスイッチから指を離す

- ・サイドリフトアップチルトシートを車外に出すときは、シートが下がりきり、動かなくなったらスイッチから指を離します。
- ・サイドリフトアップチルトシートを車内にもどすときは、自動的に停止（完全に格納）し“ピピッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。

 知識

■ シート昇降スイッチについて

サイドリフトアップチルトシートはシート昇降スイッチを押し、“ピーツ”とブザーが鳴ってから作動します。(→ P.30)

 注意

■ 故障を防ぐために

断続的にスイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチはそのまま押し続けてください。

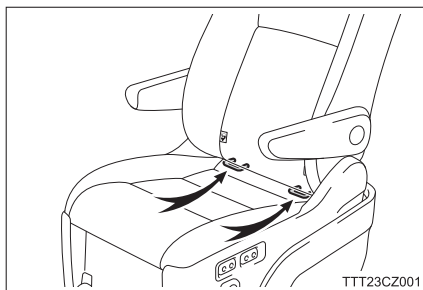
チャイルドシートの取り付け

ISOFIX ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ

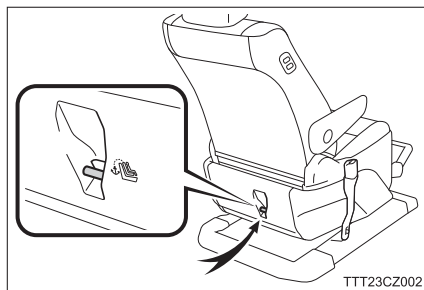
次の場所に ISOFIX ロアアンカレッジおよびトップテザーアンカレッジが装備されます。

チャイルドシートの取り付け方法については、商品に付属の取扱説明書および標準車取扱書の「チャイルドシート」を参照してください。

◆ ISOFIX ロアアンカレッジ



◆ トップテザーアンカレッジ



手動車いす用固定装置

3

3-1. 手動車いす用固定装置

車いすの収納・固定前の 準備	48
車いす固定ベルト	50

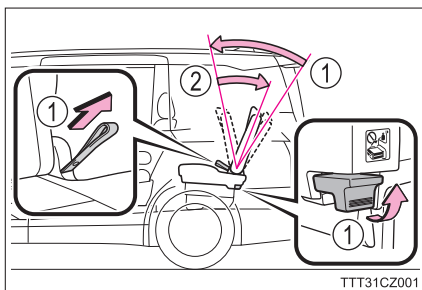
3-2. 車いすの収納・固定

固定・解除のしかた	54
-----------------	----

車いすの収納・固定前の準備

車いすを出し入れする前に

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする（→P.8）
- 2 バックドアを全開にする
- 3 サードシートの背もたれを次のように調整する（左右とも）
 - ① リクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを引きながら、背もたれを車両前側に少し倒す
 - ② リクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを引かずに背もたれを起こし、ロックさせる



知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすは下表のサイズのものになります。

全高	全長	折りたたみ幅
960mm 以下	1100mm 以下	330mm 以下

 知識

■ バックドアについて

全開にしないと、車いす収納時、バックドアと車いすがあたり、車いすの収納が困難になります。

■ サードシートについて

サードシート格納時、車いすを固定することはできません。車いすを収納・固定するときは、必ずサードシートを着座状態にし、背もたれをいちばん起こした位置にしてください。(→ P.48)

 警告

■ 車いすを収納・固定するときは

- 必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバー／シフトポジションを P の位置にしてください。(→ P.8)
車いすが傾いて体や車両にあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- サードシートの背もたれを調整するときは、背もたれを押さえながらリクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを操作してください。
背もたれを押さえずにリクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを操作すると背もたれが急に動き、けがをするおそれがあります。

 注意

■ 荷物や車いすの損傷を防ぐために

車いすを収納する前にラゲージルーム内に荷物がないことを確認してください。
車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。

車いす固定ベルト

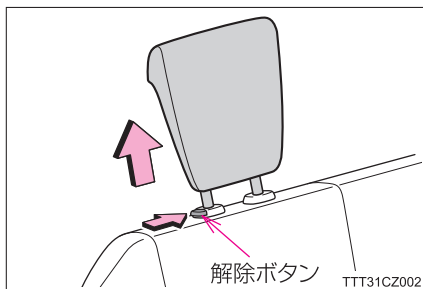
車いすを固定するための車いす固定ベルトは次のように使用してください。

車いす固定ベルトを車両へ取り付けるときは

- 1 車いす固定ベルトをラゲージルームから取り出す

- 2 サードシート左右席のヘッドレストを取りはずす

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



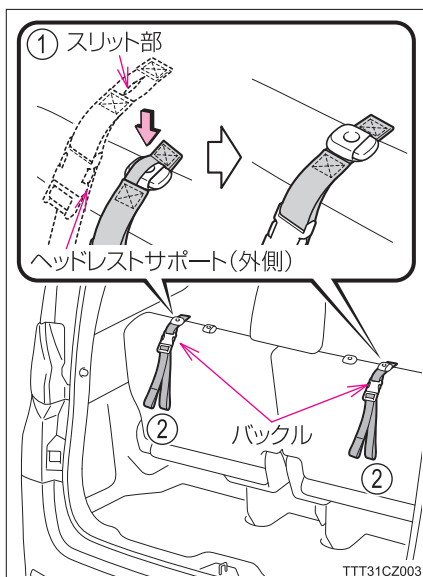
- 3 車いす固定ベルト A をサードシート左右席のヘッドレスト部に取り付ける

- ① 車いす固定ベルト A のスリット部をシート外側のヘッドレストサポートに通し、ヘッドレストサポートとシートのあいだに挟むように取り付ける

右側席は先に解除ボタンのある側から通すと、容易に取り付けられます。

- ② バックルが手前（車両後方）側を向いていることを確認する

バックルが奥（車両前方）側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください。

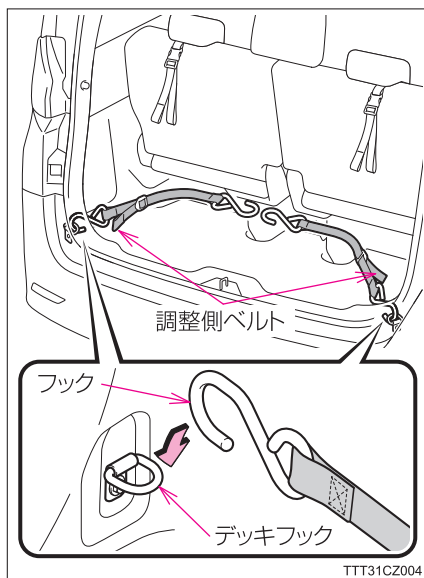


- 4 サードシート左右席にヘッドレストを取り付け、乗員がいないときはヘッドレストを下げる

解除ボタンを押しながら操作します。

5 車いす固定ベルト B のフックを
デッキフックに上からかける

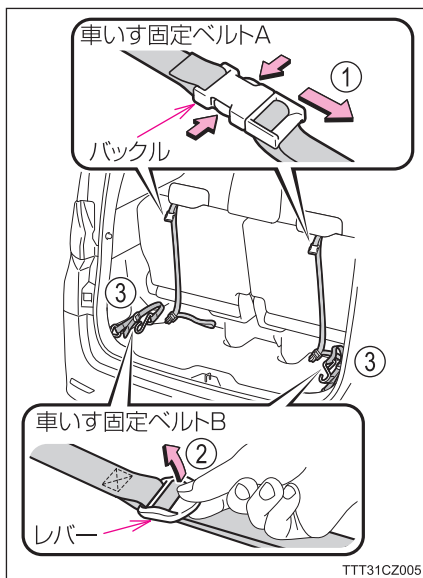
調整側ベルトがデッキフック側を向く
ようにフックをかけてください。(調
整側ベルトがデッキフックと逆側を向
いている場合は、車いす固定ベルトの
取り付けをやり直してください)



車いすをラゲージルーム内に収納・固定するときは

ラゲージルーム内に何も置かれていない状態にします。

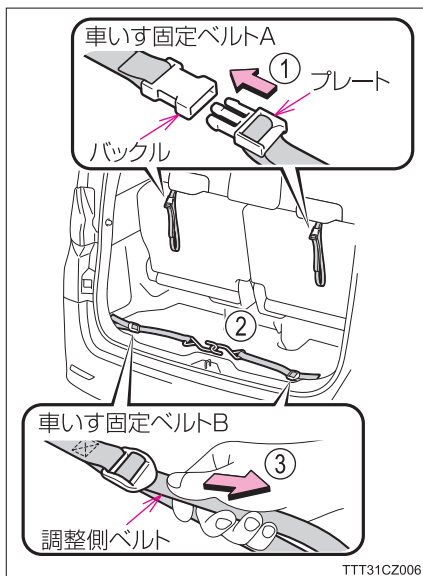
- ① 車いす固定ベルト A のバックルのロックを解除する
- ② 車いす固定ベルト B のバックルのレバーを引き上げて車いす固定ベルト B をゆるめ、十分にのばす
- ③ 車いす固定ベルト B のフック（デッキフックにかけていない側）をはずし、ラゲージルームのすみによけておく（2 本とも）



車いすをラゲージルーム内に収納・固定しないときは

車いす固定ベルトがラゲージルーム外に出ないようにします。

- ① 車いす固定ベルト A のバックルをロックする
プレートバックルに挿し込んでから、調整側ベルトと固定ベルトの長さを同じ長さに合わせて最も短い状態にします。
- ② 車いす固定ベルト B のそれぞれのフックを引っかける
- ③ 車いす固定ベルト B の調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする



 知識

■ 車いす固定ベルトについて

- 車いすを収納するときは、車いす固定ベルト B をラゲージルーム内中央に放置しないでください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルト B の操作が困難になります。
- 車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルト B をバックドアに挟んだりしないようにするため、それぞれのフックを引っかけてください。
(→ P.52)

■ デッキボードを開閉するときは

車いす固定ベルト B のフックをデッキフックから取りはずし、デッキフックをたたんでください。

 注意

■ 損傷を防ぐために

サードシートの格納およびもどす操作をするときは、必ず車いす固定ベルト B を P.52 の状態にしてください。
車いす固定ベルト B を放置した状態でサードシートの格納およびもどす操作を行うと、車いす固定ベルト B を挟み込み、車いす固定ベルト B の損傷やロック機構が破損するおそれがあります。

固定・解除のしかた

車いすの固定・解除については次のように行ってください。

固定方法には、ベルトを車いすにかけて固定する方法（A）とベルトをクロスにかけて固定する方法（B）があります。

ご使用する車いすが確実に固定できる方法で行ってください。

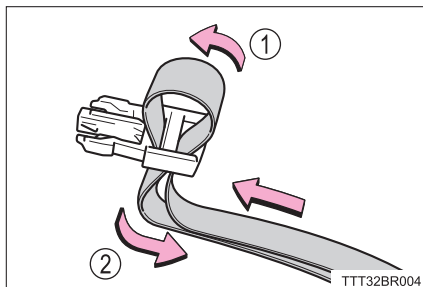
収納・固定のしかた（固定方法 A）

- 1 車いすを折りたたみ、後輪のブレーキを両輪ともかける
 - ・ 車いすの折りたたみ方、ブレーキのかけ方については、お使いの車いすの取扱説明書を参照してください。
 - ・ P.48 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。

- 2 車いすを立てたままラゲージルーム内に収納する

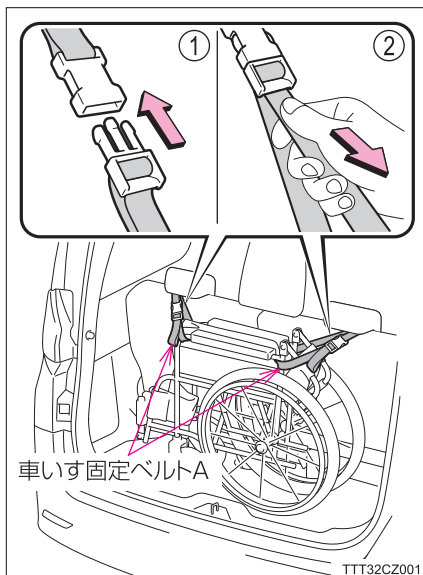
- 3 車いす固定ベルト A を十分にのばす

- ① 調整側ベルトをプレート側に押し込む
- ② 下側のベルトを引く

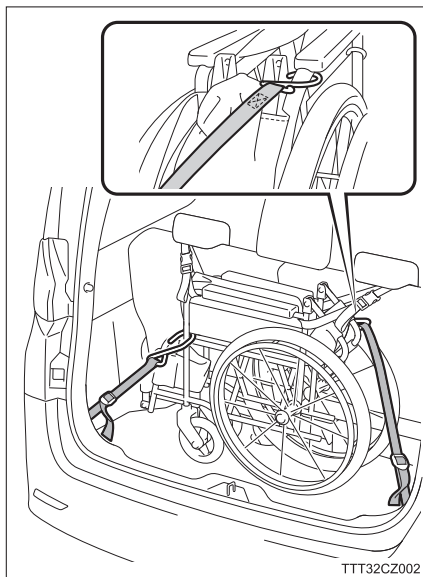


- 4 次の場所を目安に、車いす固定ベルト A を車いすに取り付ける

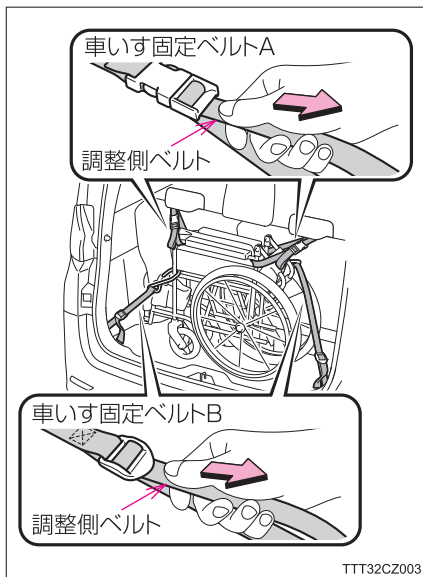
- ① 車いす固定ベルト A を車いすのフレームに通し、プレートバックルに挿し込む
- ② 調整側ベルトを引っ張り、車いすを仮固定する



- 5 車いす固定ベルトBのフックを、車いすの奥側のハンドル付け根およびフレームを目安に引っかける



- 6 車いす固定ベルトA、Bの調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する

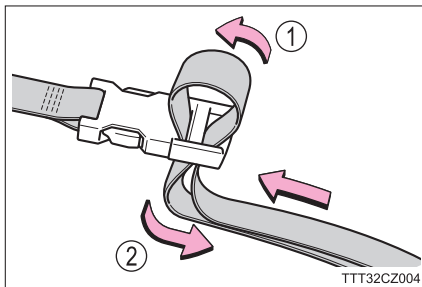
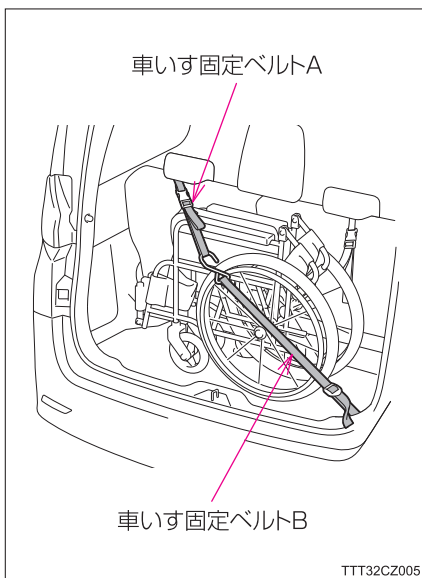


収納・固定のしかた（固定方法 B）**1** 車いすを折りたたみ、後輪のブレーキを両輪ともかける

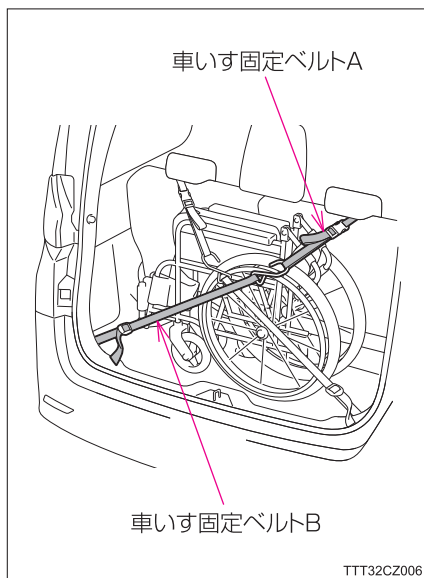
- ・ 車いすの折りたたみ方、ブレーキのかけ方については、お使いの車いすの取扱説明書を参照してください。
- ・ P.48 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。

2 車いすを立てたままラゲージルーム内に収納する**3** 車いす固定ベルト A を十分にのばす

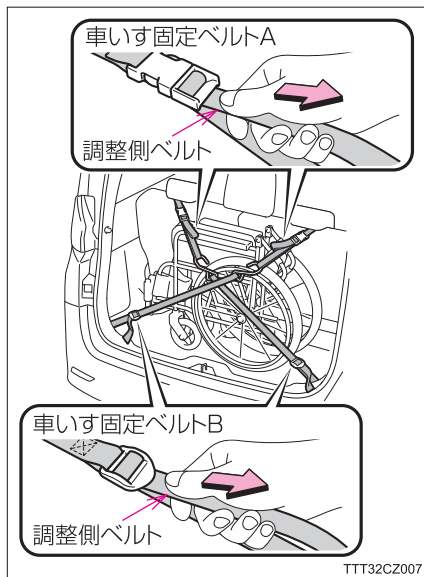
- ① 調整側ベルトをプレート側に押し込む
- ② 下側のベルトを引く

**4** 車いす固定ベルト A（左上側）に車いす固定ベルト B（右下側）のフックを引っかける

- 5 車いす固定ベルト A（右上側）
に車いす固定ベルト B（左下側）
のフックを引っかける



- 6 車いす固定ベルト A、B の調整
側ベルトを引っ張り、車いすを
確実に固定する



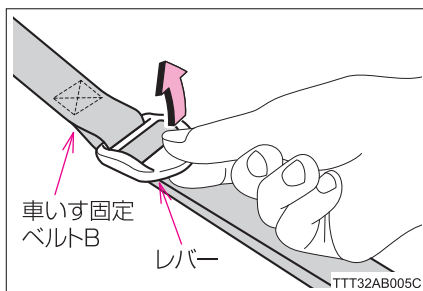
固定後、走行する前に

バックドアを閉める

バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いすのハンドルなどがバックドアガラスにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。

解除のしかた

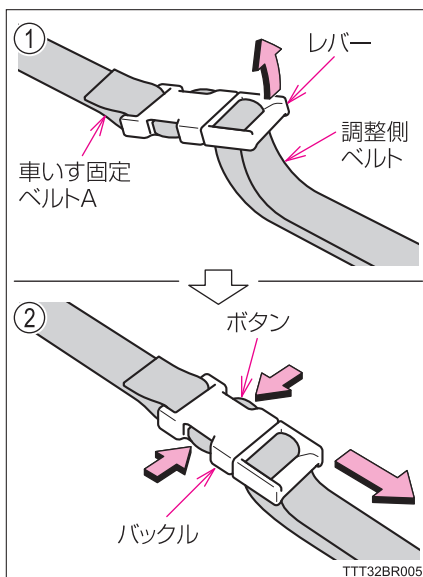
- 1 車いす固定ベルトBのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトBをゆるめる（2本とも）



- 2 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトBのフックを車いすから取りはずす（2本とも）

- 3 車いす固定ベルトAをゆるめる（2本とも）

- ① 車いす固定ベルトAのレバーを引き上げ、調整側ベルトをゆるめる
- ② バックルのボタンを押してロックを解除する



- 4 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトAを車いすから取りはずす（2本とも）

警告**■ 車いすを固定・解除するときは**

車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れて体に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

注意**■ 損傷を防ぐために**

- 車いすを固定・解除するときは、車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れ、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部に当たっていないことを確認してください。
車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。
- 車いす固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
 - ・ バックドアを閉めるとき、バックドアおよびバックドアガラスと車いすが当たるおそれがあります。
 - ・ 走行中に車いすがサードシートやバックドアなどにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- バックドアはゆっくりと閉めてください。
バックドアをいきおいよく閉めると、車いすがバックドアなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- サードシートをリクライニング操作する場合は車いす固定後、バックドアを閉めた状態で、車いすがサードシートやバックドアなどにあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。
 - ・ 車いすがサードシートやバックドアなどにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
 - ・ リクライニング操作後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。

万一の場合には

4

4-1. 故障かな？と お考えになる前に

ヒューズの交換 62

サイドリフトアップ
チルトシートが
動かないときは 64

ワイヤレスリモコンの
電池交換 65

4-2. 緊急時の対処法

サイドリフトアップ
チルトシートが
車外に出た状態で
動かないときは 68

ヒューズの交換

スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ サイドリフトアップチルトシート前側下部

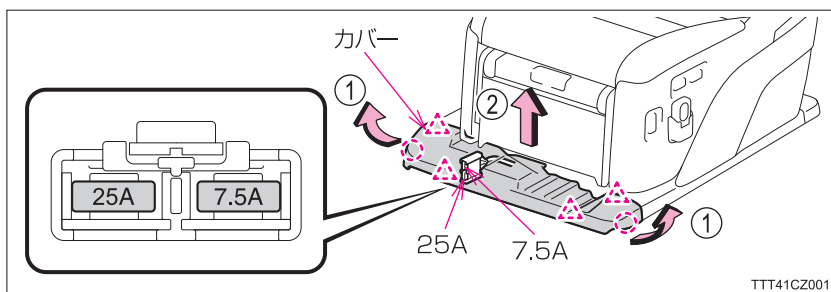
カバーを取りはずします。

- ① ツメ2か所をはずす

○：ツメ

- ② クリップ4か所をはずし、カバーを取りはずす

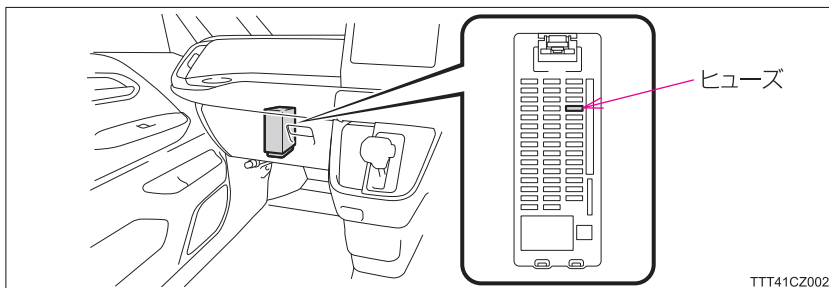
△：クリップ



アンペア数	使用装置
7.5A、25A	サイドリフトアップチルトシート

■ エンジンルーム内左側ヒューズボックス

ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
WELCAB	30A	サイドリフトアップチルトシート

□ 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換してもサイドリフトアップチルトシートが動かないとき

⚠ 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

サイドリフトアップチルトシートが動かないときは

次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.36)

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.62)

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても動かない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対にサイドリフトアップチルトシートを使用しないでください。

■ 車内に入った状態で動かない場合

そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 車外に出た状態で動かない場合

リセット (→ P.68) しても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者に P.73 「スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かないとき」の操作をご依頼ください。

知識

■ バッテリー〈補機バッテリー〉の取り扱いについて

→ P.14

ワイレスリモコンの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

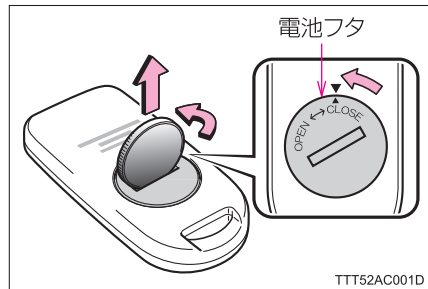
用意するもの

- コインなど、電池フタの溝に挿し込めるもの
- リチウム電池 CR2032

電池交換のしかた

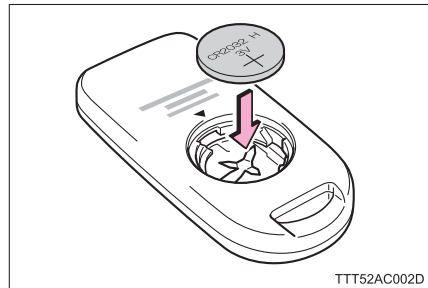
1 電池フタをはずす

コインなどを電池フタの溝に挿し込み、▲マークが合う位置まで OPEN 側にまわし、電池フタをはずします。



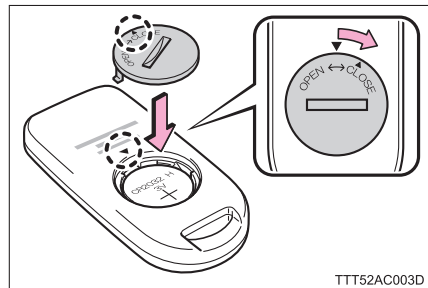
2 電池を交換する

電池を取り出し、新しい電池の+側を上（電池フタ側）にして挿入します。



3 電池フタをはめる

- ・ 電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。
- ・ コインなどを電池フタの溝に挿し込み、CLOSE 側にまわし、電池フタを締め込みます。



4 作動確認をする

電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中（6 秒以内）にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押して、動作表示 LED が緑色点滅することを確認します。

知識

■ リチウム電池 CR2032 の入手

電池はトヨタ販売店、時計店、カメラ店などで購入できます。

警告

■ ワイヤレスリモコンの電池について

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 誤って電池を飲み込まないように注意してください。化学熱傷のおそれがあります。
- ワイヤレスリモコンにはコイン電池もしくはボタン電池が使われています。電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の化学熱傷を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 新しい電池および取りはずした電池は、お子さまにさわらせないでください。
- カバーがしっかり閉まらない場合はそのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所に保管し、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- 誤って電池を飲み込んだ、または体の一部に入ってしまった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

■ 電池の爆発や可燃性の液体またはガスの漏れを防ぐために

- 同じタイプの電池と交換してください。異なったタイプの電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。
- 極端に温度の高いところや、高度が高く極端に気圧が低いところに電池を持ち込まないでください。
- 電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

 注意**■ 交換後、正常に機能させるために**

次のことをお守りください。

- 電池交換時に部品を紛失しない
- 電池フタを曲げたりしない
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしない
- 電池の＋極と－極は必ず正しい向きにして挿入する
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などを付着させない

サイドリフトアップチルトシートが車外に出た状態で動かないときは

万一、サイドリフトアップチルトシートが回転・チルト途中で動かなくなってしまったときは、助手席側スライドドアを閉めることができません。

ヒューズの点検・交換（→ P.62）または、リセットしても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者に P.73 「スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かないとき」の操作をご依頼ください。

サイドリフトアップチルトシートをリセットする前に

サイドリフトアップチルトシートに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させてから作業を行ってください。

リセットについて

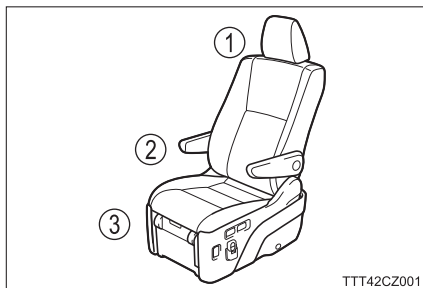
サイドリフトアップチルトシートが動かなくなったときは、次の手順でリセットを行ってください。

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ サイドリフトアップチルトシートのシートベルトが着用状態になっていないこと
- ・ 助手席側スライドドアが全開になっていること
- ・ 助手席シートの状態（→ P.29）
- ・ 助手席側サードシートに乗員がいないこと

2 サイドリフトアップチルトシートを次の状態に調整する

- ① ヘッドレストをいちばん下げた位置にする
- ② アームレストをいちばん下げた位置にする
- ③ フットレストをいちばん上げた位置にする



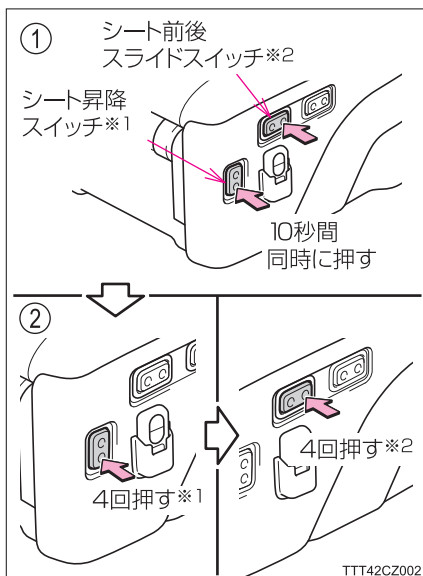
- 3 サイドリフトアップチルトシートが停止しているときに、次のようにスイッチを操作する

- ① シート前後スライドスイッチとシート昇降スイッチを同時に 10 秒間押し続ける

10 秒間押し続け(“ピー”とブザーが鳴ります)、ブザーが鳴りやんだらスイッチから指を離します。

- ② ブザーが鳴りやんでから 10 秒以内にシート昇降スイッチおよびシート前後スライドスイッチを各 4 回押す

- ・ 正しく押すと“ピッピー”とブザーが鳴ります。
- ・ 10 秒以内にスイッチを押し終わらなかったり、正しくスイッチを押さなかった場合、“ピー”とブザーが鳴ります。①のスイッチ操作からやり直してください。

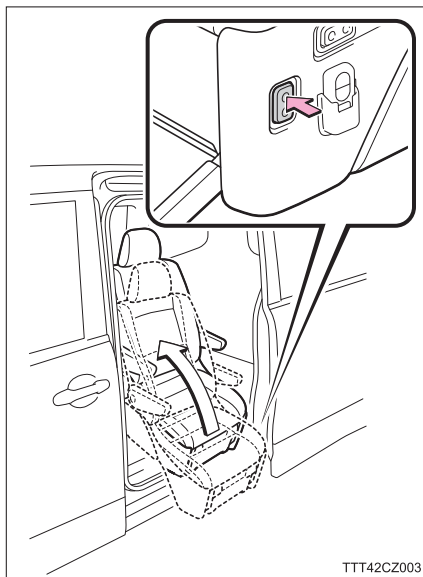


※1：上側・下側どちらでも可

※2：前側・うしろ側どちらでも可

- 4 シート昇降スイッチの上側を押し、上昇端の原点リセットをさせる

- ・ サイドリフトアップチルトシートがチルトアップ後に“ピッ”とブザーが鳴ります。
- ・ スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かないときは、トヨタ販売店または専門業者に P.73「スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かないとき」の操作をご依頼ください。

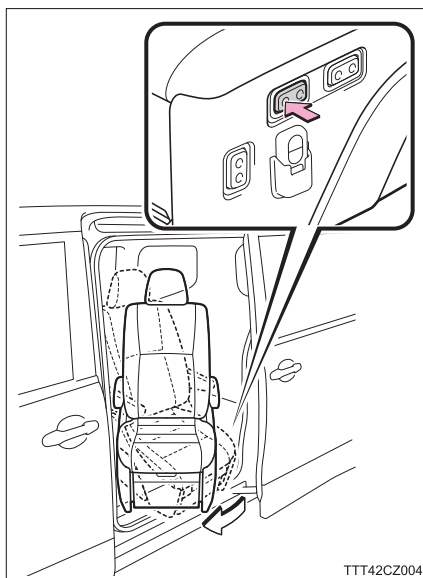


TTT42CZ003

※：4～8の一連の作動中にリセット解除条件が成立すれば、“ピー”とリセット解除ブザーが鳴り、通常モードに復帰します。(通常作動とは異なります)

- 5 左側のシート前後スライドスイッチの前側を押し、回転の原点リセットをさせる

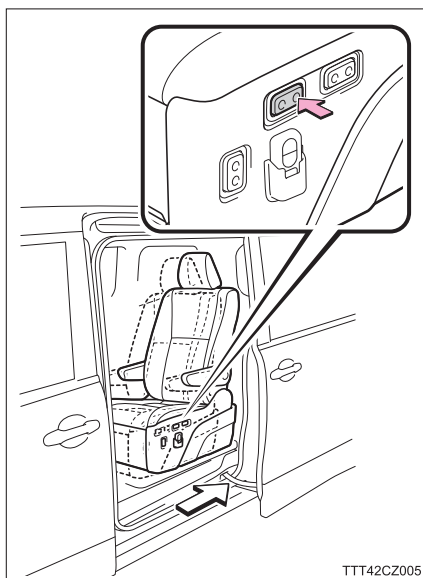
サイドリフトアップチルトシートが回転後に“ピッ”とブザーが鳴ります。



TTT42CZ004

- 6 左側のシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し、前後スライドの原点リセットをさせる

サイドリフトアップチルトシートが後方スライド後に“ピッ”とブザーが鳴ります。



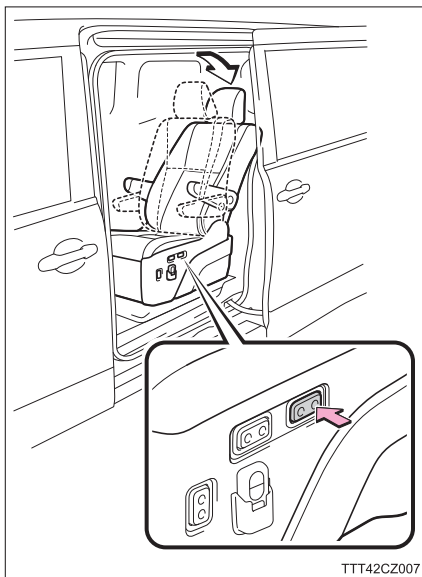
- 7 左側のシートリクライニングスイッチの前側を押し、サイドリフトアップチルトシートの背もたれが前側へ起き始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続ける

自動的に作動が停止したあと、またはスイッチを押しても背もたれが動かない場合は、次の8の操作をします。



- 8 左側のシートリクライニングスイッチのうしろ側を押し、サイドリフトアップチルトシートの背もたれがうしろ側へ倒れ始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続ける

背もたれの作動が停止し、“ピー”とリセット解除ブザーが鳴るまでスイッチを押し続けます。



- 9 各スイッチ操作を行い、サイドリフトアップチルトシートが通常作動することを確認する

スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かない、または通常作動にもどっていないときは、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かないとき

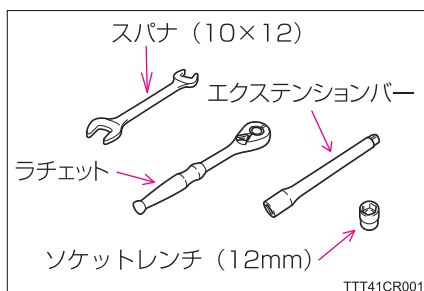
ヒューズの点検・交換 (→ P.62) または、リセットしても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者に下記の操作をご依頼ください。

下記の操作は、緊急時の対処法です。

操作を行ったあとは、サイドリフトアップチルトシートが完全に固定された状態ではありません。シートのまわりに人やものがないことを確認して、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 使用工具について

サイドリフトアップチルトシートを手動で車内にもどすときは、イラストの工具を使用します。

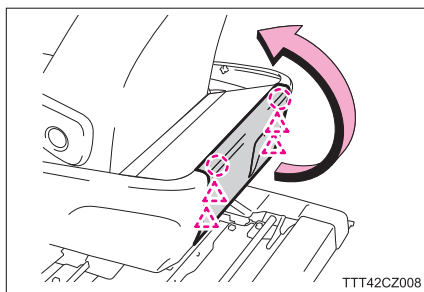


■ サイドリフトアップチルトシートを手動でチルトアップさせるときは

- 1 操作前に、次の状態を確認する
 - ・ 助手席シートの状態 (→ P.29)
 - ・ 助手席側サードシートに乗員がいないこと

- 2 サイドリフトアップチルトシートを次の状態にする
 - ・ ヘッドレストおよびアームレストをいちばん下げた状態にする (→ P.18, 20)
 - ・ フットレストをいちばん上げた状態にする (→ P.21)

- 3 サイドリフトアップチルトシートうしろ側のカバーを取りはずす



- ① クリップ4か所をはずす

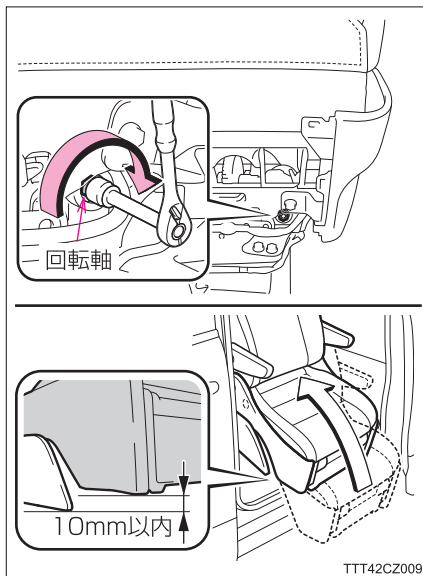
△ : クリップ

- ② カバーをずらしツメ2か所をはずし、カバーを取りはずす

○ : ツメ

- 4 モーターの回転軸（12mm）をソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して右にまわし、サイドリフトアップチルトシートをチルトアップさせる

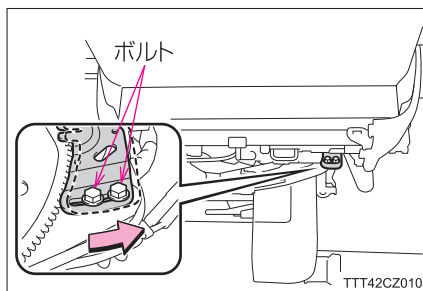
- ・サイドリフトアップチルトシートの下部がイラストの範囲（10mm以内）になるまでチルトアップさせてください。
- ・まわしすぎるとまわす力が重くなります。それ以上まわさないでください。



■ サイドリフトアップチルトシートを手動で車内に回転させるときは

サイドリフトアップチルトシートをP.73「■サイドリフトアップチルトシートを手動でチルトアップさせるときは」の方法でチルトアップさせてから行います。

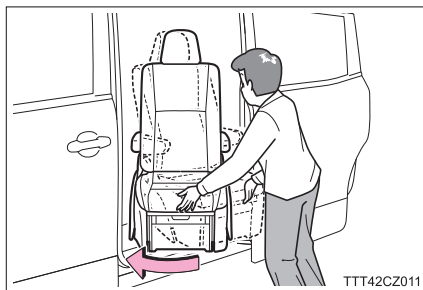
- 1 回転モーターのボルト（12mm）2本をスパナを使用してゆるめ、回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす



- 2 サイドリフトアップチルトシートがピラーや助手席にあたらないことを確認しながら回転できなくなる位置まで回転させる

ピラーや助手席にあたるときは、P.73「**■**サイドリフトアップチルトシートを手動でチルトアップさせるときは」の

4 を行いあたらなくなるまでチルトアップさせてから回転させてください。



- 3 助手席側スライドドアを閉める

- ・ サイドリフトアップチルトシートが通常の格納完了位置ではないため、パワースライドドアスイッチで助手席側スライドドアを閉めることができません。そのため、パワースライドドアメインスイッチを OFF にして、手動で助手席側スライドドアを閉めてください。(パワースライドドア→標準車取扱書の「スライドドア」)
- ・ サイドリフトアップチルトシートが通常の格納完了位置ではないため、助手席側スライドドアを全開位置から動かすと、“ピーピー…”とブザーが鳴り続けます (→P.30)。すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識**■ リセット操作時、サイドリフトアップチルトシートを車外に回転させるときは**

P.70 の[5]において、シート昇降スイッチの下側を押しながらシート前後スライドスイッチの前側を押し続けます。(スイッチを押す順序が逆の場合および同時に押すとサイドリフトアップチルトシートが停止し、ブザーが鳴ります)

■ リセット操作時、サイドリフトアップチルトシートを前方にスライドさせるときは

P.71 の[6]において、シート昇降スイッチの下側を押しながらシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し続けます。(スイッチを押す順序が逆の場合および同時に押すと、サイドリフトアップチルトシートが停止し、ブザーが鳴ります)

■ ブザーについて

- 上記「■ リセット操作時、サイドリフトアップチルトシートを車外に回転させるときは」および「■ リセット操作時、サイドリフトアップチルトシートを前方にスライドさせるときは」以外の複数のスイッチを押すとサイドリフトアップチルトシートが停止し、ブザーが鳴ります。
- サイドリフトアップチルトシートを車内に格納する途中、助手席側スライドドアを全開位置から動かすと、“ピーピー…”とブザーが鳴ります。(→ P.30)

■ 紛失を防ぐために

取りはずした部品は袋に入れるなどして、紛失しないようにしてください。

警告**トヨタ販売店での点検が完了するまでは**

サイドリフトアップチルトシートの上および周辺に、何も無い状態にしてください。

シートが完全に固定された状態ではないため、シートやものにあたり、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

サイドリフトアップチルトシートを手動で格納するときは

- サイドリフトアップチルトシート格納スペースに手や足を入れないでください。

シート可動部などで手や足などを挟み、けがをするおそれがあります。



- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に保管してください。
車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意**破損を防ぐために**

サイドリフトアップチルトシートを手動でチルトアップさせるときは、モーターの回転軸をまわしすぎないでください。

チルトアップ機構を破損するおそれがあります。

点検・整備項目

5

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備 80

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目		点検時期		交換時期 (年)	備考	
		日 常 点 検	自家用車			
			12 か 月 ご と			24 か 月 ご と
サイドリフトアップ チルトシート	スイッチ作動状態（引っかかり・異音がないこと）					
	シート昇降スイッチ	○	○			
	シート前後スライド スイッチ	○	○			
	シートリクライニン グスイッチ	○	○			
	収納・チルトダウン後の ロック状態		○		ガタ（異音）がないこと	
車いす固定 ベルト	ベルトの損傷					
	汚れ、傷、ほつれ	○			ほつれが始まったら交換	

※ 空欄については点検および交換の必要はありません。

さくいん

こんなときは
（症状別さくいん） 82

車から音が鳴ったときは
（音さくいん） 84

五十音順さくいん 86

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

スライドドアの開閉ができない



助手席側スライドドアが全開できない

- 給油口が開いていませんか？（→ P.36）



ブザーが鳴り、助手席側スライドドアが自動で閉まらない

- サイドリフトアップチルトシート格納時のロックが不完全です。（→ P.30, 40）

故障かな？と思ったら



ブザーが鳴りだした

- 「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（P.84）をご確認ください。



サイドリフトアップチルトシートの回転・チルト操作ができない

- サイドリフトアップチルトシートでシートベルトを着用していませんか？（→ P.28, 36）
- 助手席側スライドドアが全開されていますか？（→ P.34, 36）



サイドリフトアップチルトシートが少し反転して停止した

- サイドリフトアップチルトシートが作動中、障害物にあたっていますか？（→ P.36, 40）



サイドリフトアップチルトシートの前後位置・リクライニング調整ができない

- サイドリフトアップチルトシートは車内に完全格納されていますか？
（→ P.16, 38）



サイドリフトアップチルトシートが動かない、または作動中に停止した

- 断続的にスイッチを押していませんか？（→ P.37, 39, 44）
- ヒューズが切れていませんか？（→ P.62）
- サイドリフトアップチルトシート操作中にバッテリー〈補機バッテリー〉をはずしていませんか？（→ P.14）
サイドリフトアップチルトシート操作中にバッテリー〈補機バッテリー〉をはずしたときは、リセット操作が必要になります。（→ P.68）



サイドリフトアップチルトシートが動かない（ワイヤレスリモコンで操作している場合）

- 車両から離れすぎていませんか？（→ P.25）
- 周囲の電波状況により、サイドリフトアップチルトシートが作動しなくなることがあります。（→ P.26）
- 電源スイッチを押してから 6 秒以内（動作表示 LED が赤色点灯中）に、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押していますか？
（→ P.36, 39）



ワイヤレスリモコンの作動可能距離が著しく短くなったり、動作表示 LED が点灯・点滅しなくなった

- 電池を交換してください。（→ P.65）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤作動などをお知らせするためにブザーが鳴ります。

ブザー（一覧）については、P.30 を参照してください。

サイドリフトアップチルトシート操作時

状況	原因	詳細
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押したとき	サイドリフトアップチルトシート作動開始	P.34 P.38 P.43
	サイドリフトアップチルトシートが車内に格納完了	P.38 P.43
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押してもサイドリフトアップチルトシートが動かないとき	サイドリフトアップチルトシートでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押している	P.36
	助手席側スライドドアを全開にしないでシート下降スイッチを押している	P.36
サイドリフトアップチルトシートが少し反転して停止したとき	サイドリフトアップチルトシートが作動中、障害物にあたるなどサイドリフトアップチルトシートの作動がさまたげられた	P.36 P.40

助手席側スライドドア操作時

状況	原因	詳細
パワースライドドアスイッチを押して助手席側スライドドアを自動で閉めようとしたとき	サイドリフトアップチルトシートが完全に格納されていない	P.40
助手席側スライドドアを手動で全開位置から動かしたとき	サイドリフトアップチルトシートが完全に格納されていない	P.40

五十音順さくいん

あ

アームレスト	20
安全なドライブのために	
車いすの固定について	13
サイドリフトアップチルト	
シートについて	8
バッテリー（補機バッテリー）	
について	14
安全にお使いいただくために	
チャイルドシート	11, 45

き

緊急時の対処法	
サイドリフトアップチルト	
シートが車外に出た状態で	
動かないときは	68

く

車いす	
解除のしかた	58
収納可能なサイズ	48
収納・固定のしかた	54
収納・固定前の準備	48
出し入れする前に	48
ラゲージルーム内に収納・固定	
しないときは	52
ラゲージルーム内に収納・固定	
するときは	52
車いす固定ベルト	50

こ

故障かな？とお考えになる前に	
サイドリフトアップチルト	
シートが動かないときは	64
ヒューズの交換	62
ワイヤレスリモコンの	
電池交換	65

さ

サイドリフトアップチルトシート	
アームレスト	20
動かないときは	64
故障かな？とお考えに	
なる前に	62
シート昇降スイッチでの操作 ...	43
シート前後スライドスイッチ ...	16
シートベルト	23
シートリクライニング	
スイッチ	16
自動メモリー機能	40
車外に出すときは	34
車外に出た状態で	
動かないときは	68
車内にもどすときは	38
手で車内に	
回転させるときは	74
手でチルトアップ	
させるときは	73
スイッチを押しても	
サイドリフトアップチルト	
シートが動かないとき	73
操作をするときは	28
正しい乗車姿勢	24
調整	16
フットレスト	21
ヘッドレスト	18
リセットについて	68
ワイヤレスリモコン	25

し

シート昇降スイッチ	43
シート前後スライドスイッチ	16
シートベルト	23
シートリクライニングスイッチ	16
自動メモリー機能	40
収納可能な車いすのサイズ	48
手動車いす用固定装置	
解除のしかた	58
車いす固定ベルト	50
固定後、走行する前に	58
収納・固定のしかた	54, 56
使用工具について	73

す

スイッチを押しても	
サイドリフトアップチルト	
シートが動かないとき	73

た

正しい乗車姿勢	24
---------------	----

ち

チャイルドシート	
トップデザアンカレッジ	45
ISOFIX ロアアンカレッジ	45
チャイルドシートについて	11

て

定期点検整備記録簿	巻末
デッキボードを開閉するときには ...	53
点検・整備項目	
定期点検整備	80

は

バッテリー〈補機バッテリー〉	
について	14

ひ

ヒューズ	
位置	62
エンジンルーム内左側	
ヒューズボックス	63
サイドリフトアップチルト	
シート前側下部	62

ふ

フットレスト	21
ブザー	30

へ

ヘッドレスト	18
--------------	----

ま

万ーの場合には	61
---------------	----

り

リセットについて	68
----------------	----

わ

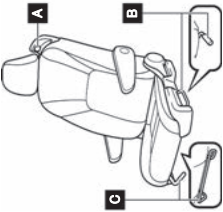
ワイヤレスリモコン	
各部の名称	25
作動可能範囲	25
電池交換	65
ワイヤレスリモコンホルダー	25

12か月定期点検整備記録簿

検査箇所	異常なし	交換	修理	整備	備考
調整	A	△	△	L	P
締付	X			T	C
清掃					

点検の結果および整備の概要

■シート
手動シート①・②・③・④

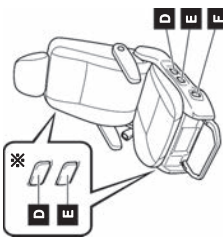


A チルトボタン③④
チルト作動時の引っかかり
チルトロックのガタ
乗出完了状態以外でチルト
できないこと②④

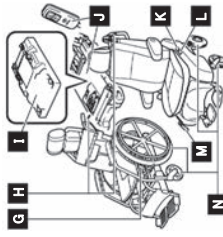
B 回転レバー・回転スライドレバー
回転/スライド作動時の
引っかかり
回転ロックのガタ
レバーの遊び量・ロック解除
①②④
回転完了状態以外でロック解除
できないこと②④
スライドロックのガタ③④
チルト状態で回転できないこと
③④

C スライドレバー
スライド作動時の引っかかり
③④
スライドロックのガタ②③④

電動系シート④・⑤・⑥・⑦



脱着系シート⑦・⑧・⑨・⑩

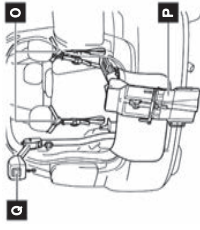


G ハンドブレーキ⑨⑩
ブレーキの遊び量
H 介助ブレーキ
ブレーキの遊び量
I 固定装置（脱着式）⑨⑩
アンロック状態でのワイヤー
巻き取り

ウエルキャブシリーズ（対象装備に○をつける）

- ① 助手席回転シート車
- ② 助手席回転スライドシート車
- ③ 助手席回転スライドシート車（脱着タイプ）
- ④ 助手席回転スライドシート車（脱着シート仕様）
- ⑤ サイドフットアップシート車/装着車
- ⑥ サイドフットアップチルトシート車/装着車
- ⑦ サイドフットアップシート車（脱着タイプ）
- ⑧ サイドアクセス車（脱着シート仕様）
- ⑨ サイドアクセス車（専用車いす仕様）

■車いす収納装置
（脱着装備のみ点検）



O 車いす固定ベルト
ベルトの傷・ほつれ
P 車いす収納装置（電動スライド式）
操作時の異常な動き・振動・異音
収納装置取付部のゆるみ・ガタ・
損傷 ※
駆動ベルト、ストラップの傷・ほつれ
ダンパーの油漏れ
キャススター固定部の脂チップ
テープの破れ
鉄ねじ固定点ロックハンドルの
ゆるみ ※
摺動部のグリス潤滑状態
Q 手動車いす用収納装置
（吊り上げ式）
作動時の引っかかり・異音・
ベルトの巻き取り方向
収納装置取付部のゆるみ・ガタ・
損傷
吊りベルトの傷・ほつれ

※ 車種により該当しない場合があります。

データ入力に際するアドバイス	
低名又は名称	収録者の氏名又は名称及び住所
住所	様
車名	自動車登録番号又は車両番号
自動車公称最大積載量の記載又は名称等及び乗車者の所定値 （記載又は名称）	
事業所の所在地	事業所の年月日
実施者名	点検の年月日
km	分層距離（点検）時の総走行距離
年 月 日	年 月 日
原紙・お客様控	コピー・工場控

お問い合わせ、ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

受付時間についてはホームページにてご確認ください。
https://faq.toyota.jp/?site_domain=default#contact

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
https://toyota.jp/privacy_statement/ にて
掲載しております。

「リコール等情報」については、
<https://toyota.jp/recall/index.html> にて
掲載しております。

QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です。



ウェルキャブ（福祉車両）

<https://toyota.jp/welcab/>



トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>



M 28A28

01999-28A28

IT-2025年 1 月 10日

2022年 1 月13日 初版

2025年 1 月17日 2 版

ノア／ヴォクシー

サイドリフトアップチルトシート装着車